

魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

—平成20年度森林・林業施策の概要—

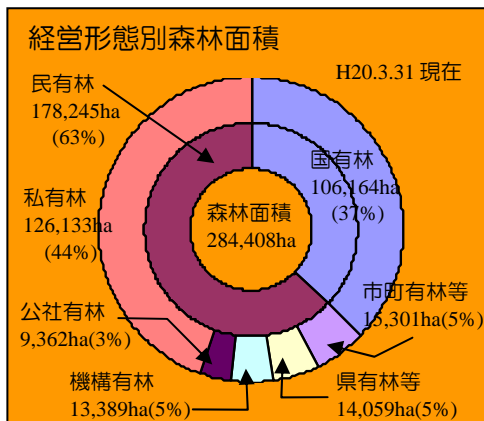


とやまの森づくりサポートセンター交流会（高岡市伏木一宮）

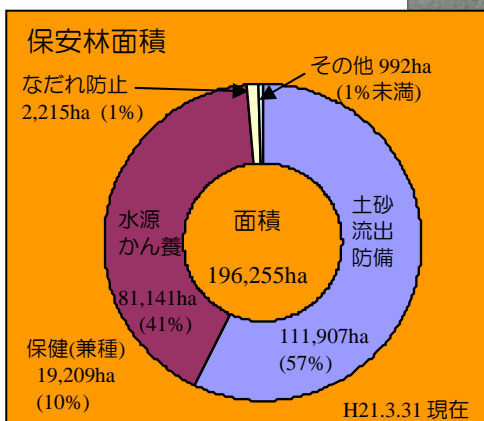


山元土場で仕分けされた県産スギ丸太（富山市片掛）

I 富山県森林・林業の姿



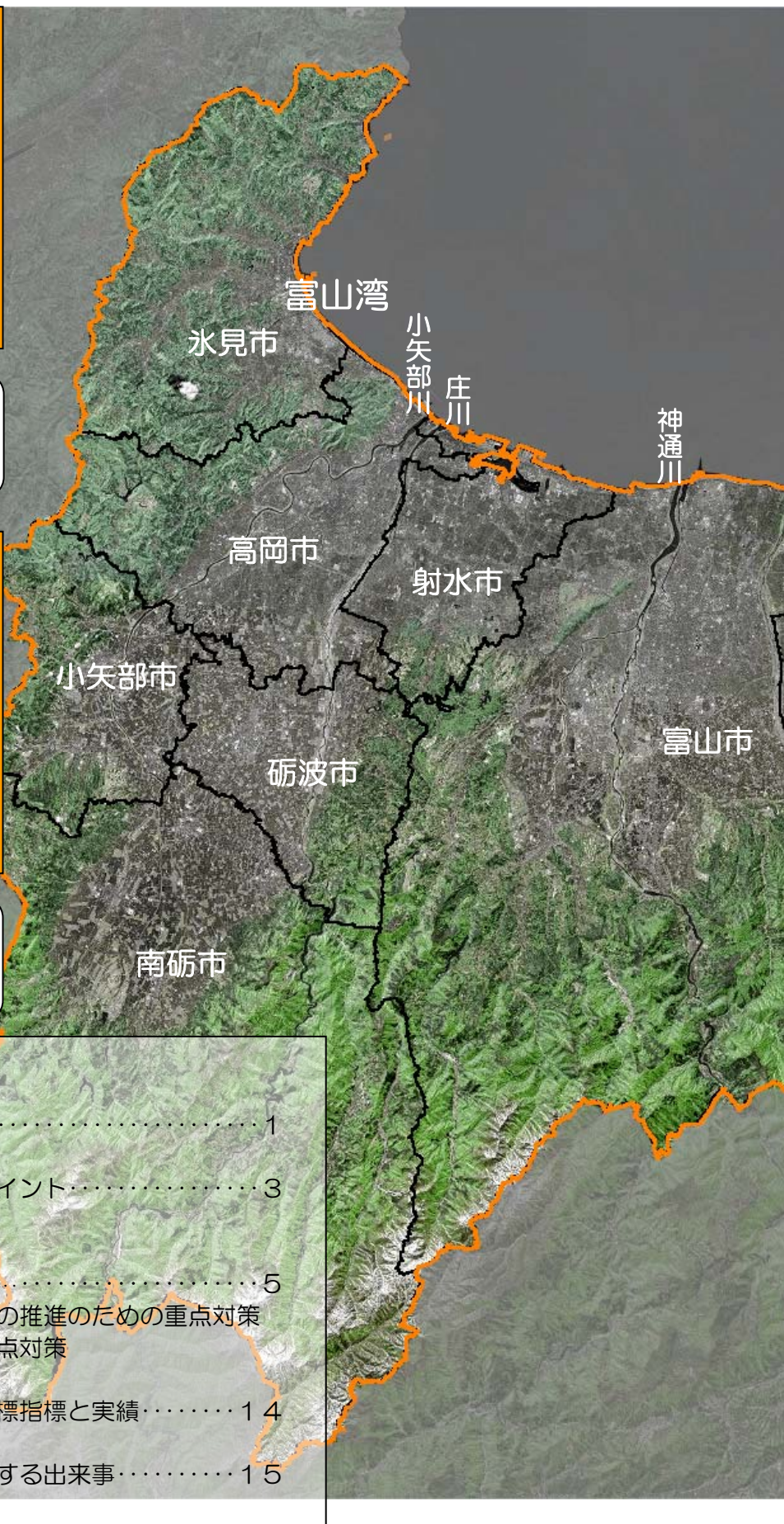
本県の森林面積は 284 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めており、比率は全国平均とほぼ同じとなっている



保安林率は全国第1位の 69.0% となっており、公益上必要な森林については保安林の指定を進めている。

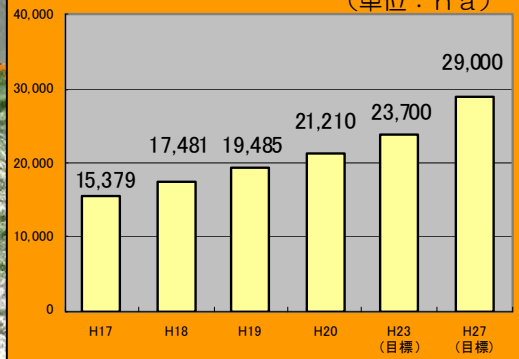
目次

- I 富山県森林・林業の姿…………… 1
- II 富山県森林・林業振興計画のポイント…………… 3
- III 計画実現のための重点対策と
平成20年度の主な取組み…………… 5
 - 1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策
 - 2 魅力ある林業の構築のための重点対策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と実績…………… 14
- V 平成20年度の森林・林業に関する出来事…………… 15



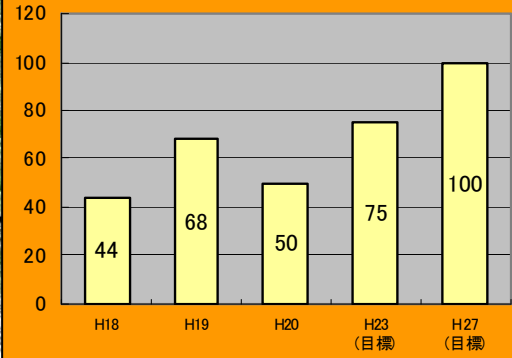


間伐累計面積の推移 (単位：ha)



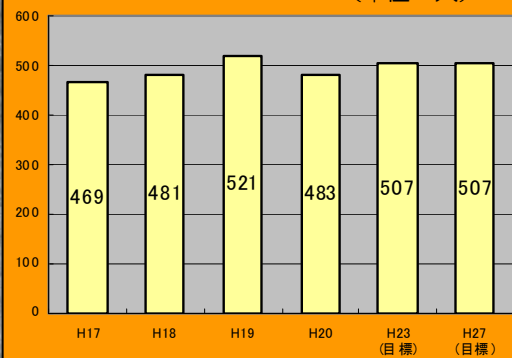
地球温暖化防止に向けた、二酸化炭素の吸収源対策として、間伐を重点とした森林整備を推進している。

素材生産量の推移 (単位：千 m³)



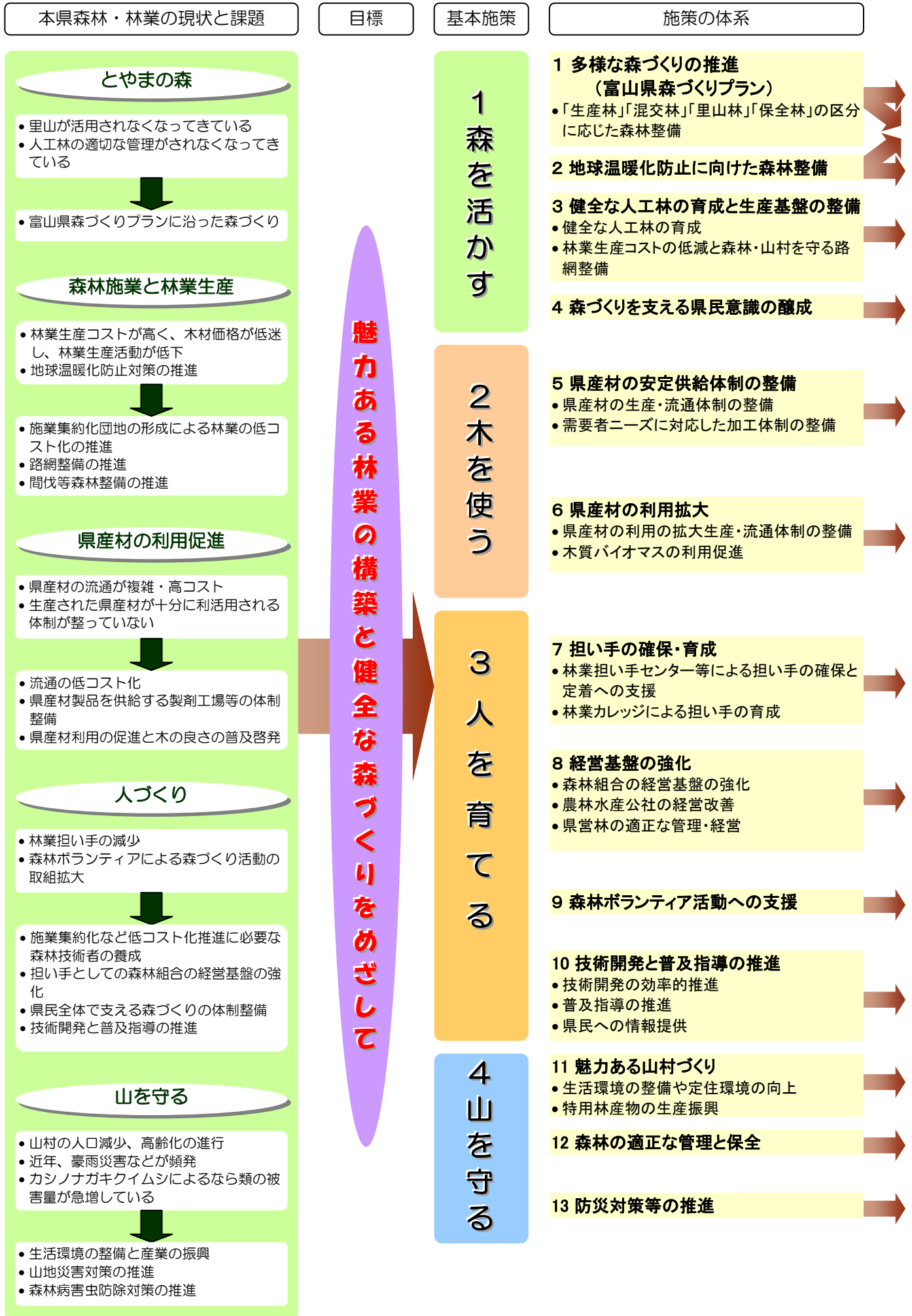
木材価格の低迷や経営コストの上昇による採算性の悪化から、素材生産量は停滞している。

林業従事者数の推移 (単位：人)



林業従事者は増加傾向にあったが、平成19年度は、素材生産量の落ち込み等から減少に転じている。

II 富山県森林・林業振興計画のポイント



平成20年度の主な取組内容

- みどりの森再生事業(水と緑の森づくり事業)
- 里山再生整備事業(")

- 造林事業など森林整備事業
間伐材の搬出に対する支援
- 林道・作業道開設事業
- 地域森林管理整備事業(境界測量)
- 森林整備地域活動支援交付金事業
- 県産材低コスト生産・流通体制確立支援事業
- 施業集約化モデル事業
- とやまの森づくり普及啓発推進事業
 (水と緑の森づくり事業)

- 木材産業体質強化緊急対策事業
 (木材情報の収集・提供)
- 県産材安定供給体制整備事業
- 県産材低コスト生産・流通体制確立支援事業
 (新たな原木流通システム計画への支援)

- 木材需要拡大推進事業
- 地域材活用施設整備事業
- 県産材利用促進事業(水と緑の森づくり事業)
- 木材技術開発研究費
 (未利用資源の有効活用(木質ペレット化等))

- 林業担い手センター活動推進事業
- 富山県林業カレッジ運営推進事業
 (低コスト生産を担う人材の育成)

- 森林組合指導事業
- 林業構造改善事業
 (高性能林業機械、作業路網の整備支援)
- 公営造林推進費、県営林造成事業

- とやまの森づくりサポートセンター
 活動推進事業(水と緑の森づくり事業)

- 林業・木材技術開発推進費
- 林業普及指導推進事業
- とやまの森づくり総合情報システム事業
 (水と緑の森づくり事業)

- フォレストコミュニティ総合整備事業
- 特用林産対策事業

- 保安林整備事業等
- 森林病害虫防除事業・里山再生整備事業
 (カシノナガキクイムシの防除・枯損木除去)

- 治山事業(復旧・予防・海岸・保安林整備等)
- 県単独治山事業

計画実現のための重点対策

県民参加による
多様な森づくりの推進

魅力ある林業の構築

県民参加による
「里山林」と「混交林」の
整備の推進

- 水と緑の森づくり税を活用した
 里山の再生整備と混交林の
 整備
- 「森の寺子屋」による森林環境
 教育の推進

持続可能な
林業経営の推進

- 施業集約化モデル団地の設
 定による木材生産の促進
- 作業路網整備の支援
- 高性能林業機械の整備支援

県民による県産材の
有効利用の促進

- 水と緑の森づくり税を活用した
 県産材の利用促進
- 木質バイオマスの利用促進

県産材の新たな
流通システムの構築

- 直送方式による流通の低コス
 ト化の促進

森林ボランティア
活動への支援

- とやまの森づくりサポートセン
 ターによる森林ボランティア活
 動への支援
- とやまの森づくり総合情報シ
 ステムによる県民への森づく
 り情報の提供

とやまの林業を支える
人材の育成

- 富山県林業カレッジの研修に
 よる魅力ある林業に期待され
 る役割に応じた人材の育成

魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進

- 地域住民による森林管理及び利活用の促進
- 地域林業の振興による山村経済の活性化

※ 青字は、「県民参加による多様な森づくりの推進」のための取組

※ 赤字は、「魅力ある林業の構築」のための取組

Ⅲ 計画実現のための重点対策と平成20年度の主な取組み

1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策

「森を活かす」ー県民参加による「里山林」と「混交林」の整備の推進ー

- 「里山林」や「混交林」の整備については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し、進めることとします。
 - ・ 「里山林」は、「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は、「みどりの森再生事業」により整備を進め、この混交林の整備に必要な県産広葉樹苗の育成や、その植栽の一部などについても、県民参加により進めることとします。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、水と緑の森づくり税を活用した「とやまの森づくり普及啓発推進事業」により、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成20年度に講じた施策]

●水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備

- ① 市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林など再生整備に取り組みました。

【実績】

- ・ 84地区 739ha
- ・ 地域住民等の参加人数 3,614人

- ② 主要道路沿線などで、カシノナガキクイムシの被害を受けた枯損木を除去しました。

【実績】

- ・ 46地区 3,446m³

- ③ 地域の皆さんによる里山の利活用を推進するため、上市町黒川地区で「里山の集い」などを開催しました。

【実績】

- ・ 5月18日 「里山の集い」を開催
271人参加
- ・ 10月25日 里山利活用体験を実施
(炭焼き・キノコ鑑定等) 51人参加
- ・ 11月 8日 里山利活用体験を実施
(キノコの森の整備等) 74人参加

地域住民による里山林の整備



「里山の集い」の開催



- ④ 里山で拡大している竹林の実態把握と、その利活用と整備方針について検討を行いました。
3月10日 とやまの竹資源利用・整備促進検討会報告書として提出。

●水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備

- ① 風雪被害林を受けた人工林や、手入れ不足で過密となった人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】

- ・ 風雪被害林の整備 34.4ha
- ・ 過密人工林の整備 39.6ha

- ② 混交林の整備などに必要な県産広葉樹苗を県民の皆さんとともに育てる「みどりの里親事業」を実施しました。

【実績】

- ・ 10月11日 砺波市頼成の森で「みどりの里親の集い」を開催 276人参加
- ・ とやまの森づくりサポートセンターでコナラなどの苗30,000本を育成

みどりの里親の集い



● 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

- ① 県民の森づくりの理解を深め、県民参加を推進するため、フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。

【実績】

- ・ 「森の寺子屋」の開催 91回
- ② 「森の寺子屋」で活用する副読本「とやま森の教本」を作成し、小学校等に配布しました。

森の寺子屋 開催状況



「とやま森の教本」



- ③ 「第9回とやま森の祭典」を開催し、行政と県民が一体となった森づくり活動を実施しました。

【実績】

- ・ 5月23日となみ夢の平スキー場で開催
- ・ 参加者 約2,000人

「第9回とやま森の祭典」開催状況



[平成21年度に講じる施策]

● 水と緑の森づくり税を活用した里山林の再生整備と混交林の整備

- ① 地域住民との協働による里山林の整備に引き続き取組むとともに、竹林を林種転換するために必要な2年目、3年目の継続的な伐採についても支援します。
- ② 竹林の利活用を推進するための「かぐや姫の里づくり体験」や竹資源ネットワークづくりに取り組みます。
- ③ 「みどりの里親の集い」では、昨年集めたドングリから育てた苗を持ち寄って植樹イベントを開催します。

● 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

「森の寺子屋」では、平成20年度に作成した「とやま森の教本」を積極的に活用します。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、「県産材アドバイザー」の活動支援などの従来からの取組みに加え、県産材住宅への無利子融資制度など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組めます。
- 水と緑の森づくり税を活用し、公共施設等県民の目に触れる場所への県産材ベンチの設置や幼稚園・保育所等への県産材積木の配布、生徒・学童机天板の県産材への置換えや公共施設等の内装木質化への支援などにより、県民にとやまの木の良さを分かってもらえるよう、積極的なPRに努めます。
- 製材端材や林地残材などの木質バイオマス利用の重要性を県民にPRするとともに、そのエネルギー利用など効率的な利用に必要な技術開発の推進に努めます。

[平成20年度に講じた施策]

- 県産材のアドバイザーの活動促進
県産材の良さや使い方をアドバイスする「とやま県産材アドバイザー」の増員と資質の向上を図りました。

【実績】

- ・養成研修の開催 3回
(38名を増員養成、合計108名)
- ・フォローアップ研修の開催 1回

- 木の良さPRイベントの開催支援

木材研究所を活用した体験型イベント「木と住まいフェア2008」の開催を支援しました。

【実績】

- ・参加者 約80人(10月17日、研究成果発表会)
- ・参加者 約650人(10月18日)

- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を支援しました。

【実績】

- ・県産材くつろ木事業(ベンチの設置)
80基〔外数:企業協賛14基〕
- ・森の玉手箱プレゼント事業(つみ木の配布)
356施設〔1,300セット〕
(イベント用つみ木貸出:8回〔9月15日~〕)
- ・県産材こどもの城づくり事業(屋外遊具の設置)
1基〔砺波市立高波幼稚園〕
- ・森に親しむ学び舎づくり事業(学童用机天板の置換え)
3校〔136枚〕
- ・木の香るまちづくり事業(公共施設の内装木質化)
5施設

[平成21年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
 - ① 県内産スギの住宅への使用が促進される仕組みについて検討します。
 - ② 県産材を使用した住宅の情報を収集し、ホームページによる情報発信を行います。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる『木育』の推進
県産材を用いた特別支援学校用の机・椅子や幼児用遊具の開発などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。

県産材アドバイザー第2回養成研修10月22日



「木と住まいフェア2008」10月17~18日



1万ピースのイベント用つみ木の貸出



「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくり活動の裾野拡大を進めます。

[平成20年度に講じた施策]

●とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援

- ①ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
- ②サポートセンター及び登録会員のPR用パネルの作成・展示
- ③情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
- ④安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
- ⑤技術研修（森づくり塾）の開催
- ⑥登録団体の交流支援 など

【実績】

平成21年3月末現在登録団体等
58団体（3,351人）、個人65人、24企業

企業の森づくり活動の支援



●とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供

- ① とやまの森づくりホームページを開設し、「水と緑の森づくり事業」の実施状況などを情報発信しました。

【実績】

とやまの森づくりホームページで公開した情報

- ・ 里山再生や混交林整備の取り組み状況
- ・ とやま県産材ベンチ設置箇所や提案事業の募集
- ・ とやまの森の現状
- ・ 地球温暖化対策と森林

とやまの森づくりホームページ



- ② 衛星データ、空中写真、森林GISなどを用いて県内の竹林の分布状況を調査し、分布図の作成や面積の把握を行いました。

【実績】

- ・ 県内の竹林の分布面積 1,124ha（昭和50年 572ha）

[平成21年度に講じる施策]

●とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援

自主的な森づくり活動が継続されるよう各団体における森づくり活動の中心となるチーフを養成する。

●とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供

森林計画図や森林簿を、ボランティア団体等が森づくり活動に取組む際の資料として提供できるよう、システム改修を行います。

2 魅力ある林業の構築のための重点対策

「森を活かす」－持続可能な林業経営の推進－

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“植える（植栽）→育てる（保育）→収穫する（伐採）”という「循環する森づくり」を進め、森林整備を促進します。
 - ① 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
 - ② 高性能林業機械の活用を高めるための低コスト作業路網の整備や、高性能林業機械の整備支援

[平成20年度に講じた施策]

●施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進

県内6地区（224ha）を施業集約化モデル団地に設定して、木材搬出コストの低減につながる、高密路網のルート選定を支援しました。

【実績】

- ・ 高密路網のルート選定調査 24,456m
- ・ 団地内の作業道等開設延長 5,037m
- ・ 団地内の間伐実施面積 21.4ha
- ・ 団地内の木材生産量 999m³

●作業路網整備の支援

県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、作業道や低コスト道の整備を行いました。

【実績】

- ・ 作業道開設 14km
- ・ 低コスト道開設 26km

●高性能林業機械の整備支援

県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、効率的に伐採等作業を進めるため、高性能林業機械の整備に支援しました。

【実績】

- ・ フォワーダ 2台
- ・ プロセッサ 1台
- ・ シングヤーダ 1台

高密路網のルート選定



低コスト道完成



木材の搬出（フォワーダ）



●地球温暖防止のための森林整備の推進

スギ人工林の間伐や広葉樹林の整備等、二酸化炭素の森林吸収源対策を推進しました。（平成19年度から6年間で12,700haの森林整備を実施することとしています。）

【実績】

・造林事業	1,095ha
・治山事業	177ha
・水と緑の森づくり事業	447ha
・県単独森林整備事業等	150ha
・森林吸収源対策モデル事業	69ha
・その他（自力等）	195ha
計	2,133ha

間伐を実施したスギ人工林



21年度に講じる施策]

●施業集約化による木材生産の促進

作業道ルート選定調査など引き続き施業集約化への支援を実施し、取組みの拡大を進めます。

●高性能林業機械の整備

施業集約化に取り組む地域での高性能林業機械の整備を重点的に支援し、低コスト木材生産を促進します。

「木を使う」ー県産材の新たな流通システムの構築ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を進めるため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成20年度に講じた施策]

●県産材の流通体制の整備

市場手数料等の流通コストの低減を図るため、生産地である山元で選別を行い、製材工場へ直送するシステムの構築を検討しました。

【実績】

山元土場で仕分けをする担い手の育成等の課題を抽出し、直送体制のモデル的なシステムにおけるコスト低減効果の試算を行いました。



平成21年度に講じる施策]

●流通の低コスト化

安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。

「人を育てる」ーとやまの林業を支える人材の育成ー

- 林業カレッジの研修を見直し、期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業路を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導

[平成20年度に講じた施策]

● 富山県林業カレッジの研修による魅力ある林業に期待される役割に応じた人材の育成

- ① 路網計画や長伐期施業計画、森林収支計画などの総合的な広域プランを作成することのできる技術者を養成しました。

【実績】

- ・ 研修期間10日間、5名養成

- ② 施業地に適応する伐採・搬出の作業システムに対応した簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。

【実績】

- ・ 研修期間10日間、6名養成

- ③ 高性能林業機械のメンテナンス技術の習得、及び高度で熟達した機械操作技術の習得のための研修を実施しました。

【実績】

- ・ 研修期間5日間、8名受講

- ④ 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。

【実績】

- ・ 研修期間35日間、18名養成

- ⑤ 林業への就業を支援する講習を実施しました。

【実績】

- ・ 講習期間18日間、27名受講
うち19名が県内の林業事業体に就業しました。

低コスト作業道のルート選定実習



高性能林業機械の操作実習



[平成21年度に講じる施策]

● 期待される役割に応じた人材の育成

県産材の低コスト生産を担う技術者の育成研修など、引き続き富山県林業カレッジ研修への支援を実施します。

● 林業への新規就業者の拡大

緊急雇用対策の支援制度を活用し、林業への新規就業につなげます。

「山を守る」－魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進－

[平成20年度に講じた施策]

●山のみち地域づくり交付金事業への取組み

森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」の整備を実施しました。

【実績】

・ 宮崎・蛭谷線	0.2 km
・ 福平・東城線	0.2 km
・ 有峰線	0.3 km
・ 大沢野・八尾線	0.2 km
・ 上平・福光線	0.5 km
計	1.4 km

山村環境を改善する林道



●保安林の適正な管理への取組み

公益上必要な森林について、保安林に指定しました。また、保安林管理を強化するために、保安林内立木伐採等許可旗を制定しました。

【実績】

保安林指定面積

・ 水源かん養保安林	20.4 ha
・ 土砂流出防備保安林	112.7 ha

許可旗の交付 24件



●森林病虫害に対する適切な防除の実施

平成14年に南砺市で初めて被害が確認され、里山を中心に県下全域へと拡散したカシノナガキクイムシを防除するため、地域住民と関わりが深い箇所等で、被害木の伐倒駆除を実施しました。

また、海岸保安林など保全すべき松林を松くい虫被害から守るため、地上散布や伐倒駆除を実施しました。

【実績】

カシノナガキクイムシ対策

伐倒駆除	14市町	544m ³
過年度枯損木除去	14市町	3,446m ³

松くい虫対策

薬剤地上散布	2市町	19ha
伐倒駆除等	6市町	83m ³

カシノナガキクイムシ被害状況



※－ロメモ：カシノナガキクイムシ被害発生メカニズム※

- ① 前年に侵入したナラ類の樹木から、6～7月頃カシノナガキクイムシ(体長約5mm)が飛散を始める。
- ② 太めで健全なナラ類の樹木に、雄が集団的に直径約2mmの穴を開けて侵入する。
- ③ その後、雌が体に付着したカビの一種(ナラ菌)を樹木内に持ち込む。
- ④ ナラ菌が樹木内で広がって幼虫の餌になるとともに、水の通り道である道管を破壊する。
- ⑤ ナラ菌による通水障害が著しくなると、8月初旬以降に葉が赤く枯れる。

●災害に強い山づくりの推進

平成20年7月の豪雨災害を契機に「災害に強い山づくり検討委員会」を設置、今回の災害の発生原因やメカニズムを解明するとともに、より効果的な治山施設の配置など、今後の災害に強い山づくりのあり方が検討されました。

【実績】

- ・ 災害に強い山づくり検討委員会の設置
(委員会開催 11月、2月、3月)
- ・ 緊急治山事業 (南砺市 5箇所)
- ・ 治山施設災害復旧事業 (南砺市 1箇所)

土石流を捕捉した治山ダム工



●水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

【実績】

- ・ 水源地域整備事業 (南砺市他5市町 10箇所)

●山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業 (朝日町他9市町 16箇所)
- ・ 予防治山事業 (氷見市他1市 3箇所)
- ・ 地域防災対策総合治山事業 (黒部市他1市 2箇所)

●雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持・造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施した。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業 (富山市他1市 3箇所)

●海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】

- ・ 海岸防災林造成事業 (入善町 2箇所)

なだれの発生を予防する吊柵工



[平成21年度に講じる施策]

●山のみち地域づくり交付金事業への取組み

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により進捗を図り、事業効果の早期実現に努めます。

●森林病虫害に対する適切な防除の実施

カシノナガキクイムシや松くい虫の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除等を実施するほか、カシノナガキクイムシ対策として保全すべき樹木への薬剤樹幹注入を新たに実施します。

●災害に強い山づくりの推進

- ① 山地災害危険情報を整備し、住民への周知を図ります。
- ② 治山施設情報を整備し、既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員を設置して、災害の早期発見に努めます。

IV 富山県森林・林業振興計画目標指標と実績

区分	指標番号	指標名	単位	実績		目標	
				基準年 (H17)	H20末	中間目標 (H23)	終期目標 (H27)
森を活かす	1	間伐実施面積（累計）	ha	15,379	21,210	23,700	29,000
	2	混交林の整備（H19～）	ha	—	135	1,000	2,000
	3	里山林の整備（H19～）	ha	—	739	1,000	2,000
	4	保安林の指定面積 （民有林）	ha	(H18) 91,410	91,615	91,900	92,300
	5	富山県森林吸収量確保推進 計画（H19～H24）	ha	—	4,545	10,580	(H24) 12,700
	6	施業集約化団地数 （累計H20～）	箇所	—	6	35	75
	7	林道延長（累計）	Km	1,655	1,681	1,720	1,763
	8	作業道延長（累計）	Km	877	973	951	1,000
		林内路網延長（累計）	Km	4,647	4,769	4,783	4,873
		林内路網密度	m/ha	26.1	26.8	26.9	27.5
林道密度		m/ha	8.7	8.8	8.9	9.1	
9	「森の寺子屋」の年間開催 回数	回	(H19) 46	91	60	80	
木を使う	10	県産材素材生産量	千m ³	(H18) 44	50	75	100
	11	乾燥材生産量の割合	%	(H16) 11.5	(H19) 16.0	23	29
	12	公共施設等に使用する木材 に対する県産材の割合	%	70.6	82.7	76	80
人を育てる	13	林業従事者	人	(H16) 507	483	507	507
	14	林業に従事する際に必要と なる資格保有率	%	(H19) 30.9	36.0	45.5	60.0
	15	低コスト作業路開設技術者 養成数	人	—	6	20	40
	16	森林組合数	組合	8	4	2	2
	17	分収造林契約変更済延人数	人・畝	—	94	5,300	6,631
	18	県民参加による森づくりの 年間参加延べ人数	人	1,672	10,033	6,000	7,000
	19	研究の実用化件数 （H19以降の累計）	件	—	4	10	18
山を守る	20	年間キノコ生産量	トン	3,357	3,405	3,525	3,525
	21	山地災害危険地区着手数	箇所	1,213	1,241	1,246	1,266
	22	なだれ危険箇所における整 備箇所数	箇所	196	201	202	206
	23	海岸保安林整備延長	m	3,382	4,010	4,455	5,175

V 平成20年度の森林・林業に関する主な出来事

4月16日	● 富山県水と緑の森づくり会議（第1回）
4月20日	● とやまの森づくりサポートセンター交流会〔高岡市伏木一宮〕
5月18日	● 里山の集い/里山利活用体験（第1回）〔上市町黒川〕
5月23日	● 第9回とやま森の祭典〔砺波市となみ夢の平スキー場〕
6月10日	● 富山県森林審議会森づくり部会（水と緑の森づくり事業の評価）
6月20日	● とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第1回）
7月 7日	● フォレストリーダースキルアップ研修（第1回）
7月26日	● こどもの城づくり「森の見学会」（富山市割山森林公園）
7月28日	● 南砺市で集中豪雨による災害発生
7月29日～31日	● 花と緑の少年団体験学習〔立山町芦峯寺〕
8月 1日	● 草刈り十字軍入山式〔富山市富岩運河環水公園〕
8月 4日	● とやまの竹資源利用・整備促進検討会（第1回）
8月 7日～ 8日	● 中部・北陸ブロック林業研究グループコンクール〔富山市〕
8月19日	● 花とみどりの少年団リーダー研修〔富山市西金屋〕
9月21日	● とやま森づくりボランティアの集い〔黒部市阿古屋野〕
10月 1日	● 富山県西部森林組合発足
10月 2日	● 第45回全国林材業労働災害防止大会〔富山市〕
10月 8日	● とやま県産材アドバイザー養成研修（第1回）
10月11日	● みどりの里親の集い〔砺波市頼成〕
10月17日～18日	● とやま木と住まいフェア2008〔射水市黒河新〕
10月22日～23日	● とやま県産材アドバイザー養成研修（第2回）
10月24日	● とやまの竹資源利用・整備促進検討会（第2回）
10月25日	● 里山利活用体験（第2回）〔上市町黒川〕
11月 1日	● こどもの城完成式〔砺波市高波〕
11月 6日	● とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第2回）
11月 7日	● 災害に強い山づくり検討委員会（第1回）
11月 8日	● 里山利活用体験（第3回）〔上市町黒川〕
11月19日	● とやま県産材アドバイザー養成研修（第3回）
11月21日	● 富山県水と緑の森づくり会議（第2回）
12月18日	● 富山県森林審議会総会
平成21年	
2月 3日	● 災害に強い山づくり検討委員会（第2回）
2月18日	● 富山地区林業研究グループ協議会 農林水産大臣賞受賞
2月19日	● 富山県森林審議会森林保全部会（林地開発の許可）
3月 3日	● とやまの竹資源利用・整備促進検討会（第3回）
3月 6日	● 災害に強い山づくり検討委員会（第3回）
3月15日	● フォレストリーダースキルアップ研修（第2回）
3月18日	● とやま県産材アドバイザーフォローアップ研修

お問い合わせ先 富山県森林政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL(076)444-3385

富山県森林・林業振興計画は下記からダウンロードできます。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00006992.html